

さまざまな意見を発表する高校生



18歳は大人？ 高校生が議論

国際ソロプチミスト
八戸がフォーラム

国際ソロプチミスト八戸（峯敬子会長）は1日、八戸市美術館で第45回ユースフォーラムを開いた。市内の高校から参加した9人が大人の定義や夢について、学校の枠を超えて意見を交わした。地域に住む青少年の交流と、将来を担うための能力を育んでもらおうと、1979年度から毎年開催している。新型コロナウイルスの5類移行に伴い、4年ぶりに対面型で実施。青森県立八戸東と八

学光星、八戸工大一、八戸工大二、千葉学園、向陵の6校から生徒が参加した。

県内でリポーターとして活躍する中島美華さんが、コーディネーターを務めた。参加者は「あなたにとって、18歳は、おとなですか？」をテーマに議論。「どうすれば若い人が選挙に行くようになるか」などの質問に、「インターネットをもっと活用すべき」「若い人の興味を引く政策が必要」などと積極的に意見を出していた。

（藤村大地）